

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3917250号
(P3917250)

(45) 発行日 平成19年5月23日(2007.5.23)

(24) 登録日 平成19年2月16日(2007.2.16)

(51) Int. Cl.

A 4 7 G 9/10 (2006.01)

F I

A 4 7 G 9/10

W

A 4 7 G 9/10

B

請求項の数 1 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平9-217701
 (22) 出願日 平成9年8月12日(1997.8.12)
 (65) 公開番号 特開平11-56562
 (43) 公開日 平成11年3月2日(1999.3.2)
 審査請求日 平成16年8月12日(2004.8.12)

(73) 特許権者 595098435
 モリシタ株式会社
 大阪府大阪市中央区博労町1丁目9番15号
 (74) 代理人 100058479
 弁理士 鈴江 武彦
 (74) 代理人 100084618
 弁理士 村松 貞男
 (74) 代理人 100092196
 弁理士 橋本 良郎
 (74) 代理人 100091351
 弁理士 河野 哲
 (74) 代理人 100088683
 弁理士 中村 誠

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 枕

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

頭部を支える略矩形状の主体枕と、長手方向が少なくとも3区画され、その中間部を両端部より若干低くした略角柱状または略円柱状で、前記主体枕の一側部に並べ首部を支える補助枕とからなり、これらを1枚の袋体で被包した枕において、

前記袋体の上面に前記補助枕の長手方向に沿って長方形状で、一端部に開口部を有するポケットを設ける一方、蕎麦殻、プラスチックチップ、檜チップ、備長炭、ゼリー状の冷却物質を充填した冷却シート等の中身が異なり、しかも高さ寸法が異なる複数種類の頸椎支持芯を用意し、

前記頸椎支持芯を前記袋体のポケット内に交換可能に選択的に挿入し、頸椎を支えることができるようにしたことを特徴とする枕。

10

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、睡眠時に頭部と頸椎を支え、自然体の寝姿勢を保つことができる枕に関する。

【0002】

【従来の技術】

枕は安眠のために欠かすことができないが、その高さ、形状および硬さ等は使用者の好みによってまちまちであり、硬さが僅かに違っても安眠できない場合がある。また、冬季と

20

夏季とでも、枕の素材によって暑さを感じたり、寒さを感じ、寝付きが悪い場合がある。

【0003】

そこで、寝具メーカーや健康器具メーカーとしては、形状、硬さあるいは中身の素材（綿、蕎麦殻、プラスチックチップあるいは、これらの混合物）の異なる複数種類の枕を販売し、ユーザが自身の好みによって選択して購入し、使用している。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来の枕は頭部のみを支えるのが主流であり、また首部を同時に支えることができるように枕主体の一側部に上部に突出する略円弧状の凸部を一体に設けた形状のものが知られているが、人間の頸椎の深さは個人個人でまちまちであり、前記凸部が高すぎたり、また低すぎて頸椎を支えることができない。したがって、凸部が異物感を感じ、十分に安眠できないという問題がある。この発明は、前記事情に着目してなされたもので、その目的とするところは、頭部と頸椎を支え、また頸椎の深さが個人個人でまちまちであってでも対応でき、自然体の寝姿勢を保つことができる枕を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】

この発明は、前記目的を達成するために、請求項1は、頭部を支える略矩形状の主体枕と、長手方向が少なくとも3区画され、その中間部を両端部より若干低くした略角柱状または略円柱状で、前記主体枕の一側部に並べ首部を支える補助枕とからなり、これらを1枚の袋体で被包した枕において、前記袋体の上面に前記補助枕の長手方向に沿って長方形で、一端部に開口部を有するポケットを設ける一方、蕎麦殻、プラスチックチップ、檜チップ、備長炭、ゼリー状の冷却物質を充填した冷却シート等の中身が異なり、しかも高さ寸法が異なる複数種類の頸椎支持芯を用意し、前記頸椎支持芯を前記袋体のポケット内に交換可能に選択的に挿入し、頸椎を支えることができるようにしたことを特徴とする。

【0007】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。

【0008】

図1～図3は枕を示し、頭部aを支える略矩形状の主体枕1と、首部bを支える略角柱状または略円柱状の補助枕2と、これらを被包する1枚の布製の袋体3とから構成されている。主体枕1は、例えば袋体3と同材質の布製の中袋4に中身として蕎麦殻、プラスチックチップ、綿、羽毛等が詰め込まれて形成され、補助枕2も同様に、袋体3と同材質の布製の中袋5に中身として蕎麦殻、プラスチックチップ、綿、羽毛等が詰め込まれて形成されている。

【0009】

また、補助枕2は、長手方向が立体キルティング加工によって3区画され、その中間部2aは中身の量を若干少なくして両端部2bよりも高さが若干低く形成され、首部bを安定した状態で保持できるようになっている。すなわち、寝返りにも自然に対応できるように形成されている。

【0010】

補助枕2は主体枕1の一側部に並べ、これらを1枚の袋体3で被包することにより枕を構成している。この袋体3は、例えばコットンダンプルフ加工が施されていると共に、防虫・抗菌加工が施されている。この袋体3は、略正方形の2枚の布を重ね合わせ、その一辺3aを除く他の三辺3b、3cおよび3dにステッチ6を設けることにより袋状に形成されている。ステッチ6を設けない一辺3aには略全長に亘って開口しており、この開口部7にはファスナー8が縫い付けられている。

【0011】

袋体3の上面における一側に偏った位置、つまり主体枕1と補助枕2とり境界部分に対応する部位には補助枕2の長い方向に沿って長方形のポケット9が形成されている。このポケット9は、長手方向の両側縁及び一端縁を袋体3に縫合し、他端縁を開口した形状で

10

20

30

40

50

あり、その開口部 10 からポケット 9 内に頸椎 c を支える頸椎支持芯 11 が交換可能に挿入できるようになっている。

【0012】

頸椎支持芯 11 は、例えば帯状、蒲鉾状あるいは長方形の中袋 12 に蕎麦殻、プラスチックチップ、檜チップ、備長炭、ゼリー状の冷却物質を充填した冷却シート等の中身 12a を詰め込んだ複数種類からなり、ポケット 9 と略同等の長さを有し、開口部 10 から挿入することにより、容易に抜け出ない断面積に形成されているが、高さ寸法は 2 ~ 3 cm で、頸椎 c の深さが個人個人でまちまちであることに対応できるように高さが複数種類用意されている。そして、使用者の好みによって頸椎支持芯 11 を選択し、ポケット 9 に挿入できるようになっている。

10

【0013】

このように構成された枕によれば、主体枕 1 によって頭部 a を支え、補助枕 2 によって首部 b を支えるとともに、頸椎支持芯 11 によって頸椎 c を支えることができ、自然体の寝姿勢を保つことができる。また、頸椎支持芯 11 は中身 12a が異なるもの、高さが異なるものが複数種類用意されているため、使用者の好みによって選択でき、また人によって異なる頸椎 c の深さに応じて選択できる。なお、前記実施形態においては、袋体 3 に 1 個のポケット 9 を設け、1 個の頸椎支持芯 11 を挿入できるようにしたが、複数のポケットを平行に設け、選択した 1 個のポケットに頸椎支持芯を挿入してもよく、それぞれのポケットに異なる頸椎支持芯 11 を挿入してもよい。

【0015】

【発明の効果】

以上説明したように、この発明によれば、次のような効果がある。

20

【0016】

頭部を主体枕で支え、首部を補助枕で支え、かつ頸椎を頸椎支持芯で支えることができ、自然体の寝姿勢を保つことができる。また、補助枕の長手方向が少なくとも 3 区画され、その中間部を両端部より若干低くした略角柱状または略円柱状であるため、寝返りにも自然に対応できる。さらに、頸椎支持芯は、中身が異なるもの、高さが異なるものが複数種類用意されているため、使用者の好みによって選択でき、また人によって異なる頸椎の深さに応じて選択できる。

【図面の簡単な説明】

30

【図 1】 この発明の実施形態を示す枕の分解斜視図。

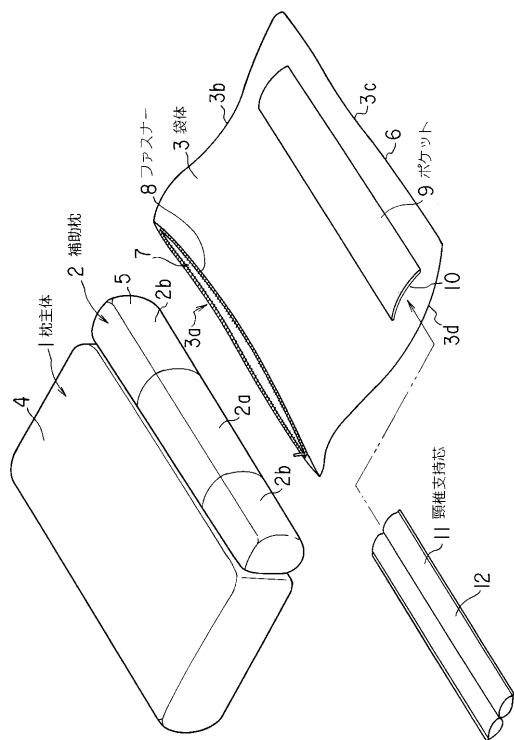
【図 2】 同実施形態の枕の使用状態の縦断側面図。

【図 3】 同実施形態の枕の縦断側面図。

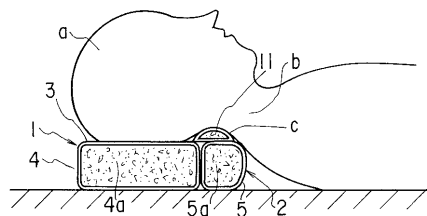
【符号の説明】

1 ... 主体枕、2 ... 補助枕、3 ... 袋体、9 ... ポケット、11 ... 頸椎支持芯

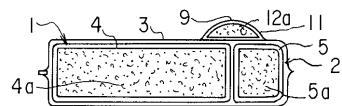
【 圖 1 】



【圖 2】



【 図 3 】



フロントページの続き

(72)発明者 森下 茂
大阪府大阪市中央区博労町 1 - 9 - 15 モリシタ株式会社内

審査官 門前 浩一

(56)参考文献 登録実用新案第 3 0 0 2 7 8 7 (J P , U)
実開平 0 7 - 0 1 3 2 6 4 (J P , U)
実開昭 6 3 - 0 0 1 4 6 3 (J P , U)
実開平 0 5 - 0 3 4 9 7 6 (J P , U)
特開平 0 8 - 0 0 0 4 2 2 (J P , A)
登録実用新案第 3 0 1 2 0 1 5 (J P , U)
特開平 0 8 - 1 6 4 0 4 9 (J P , A)

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)
A47G 9/10